

第7章

計画の進行管理

計画の推進体制、進行管理の仕組み、点検評価の手法を示しています。

1 計画の推進体制

本計画の推進及び進行管理するための組織体制は、以下のとおりとします。それらを円滑に運営し、市民・事業者、都・周辺市町との連携を図ることで、本計画の実効性を確保していきます。

武蔵村山市環境審議会

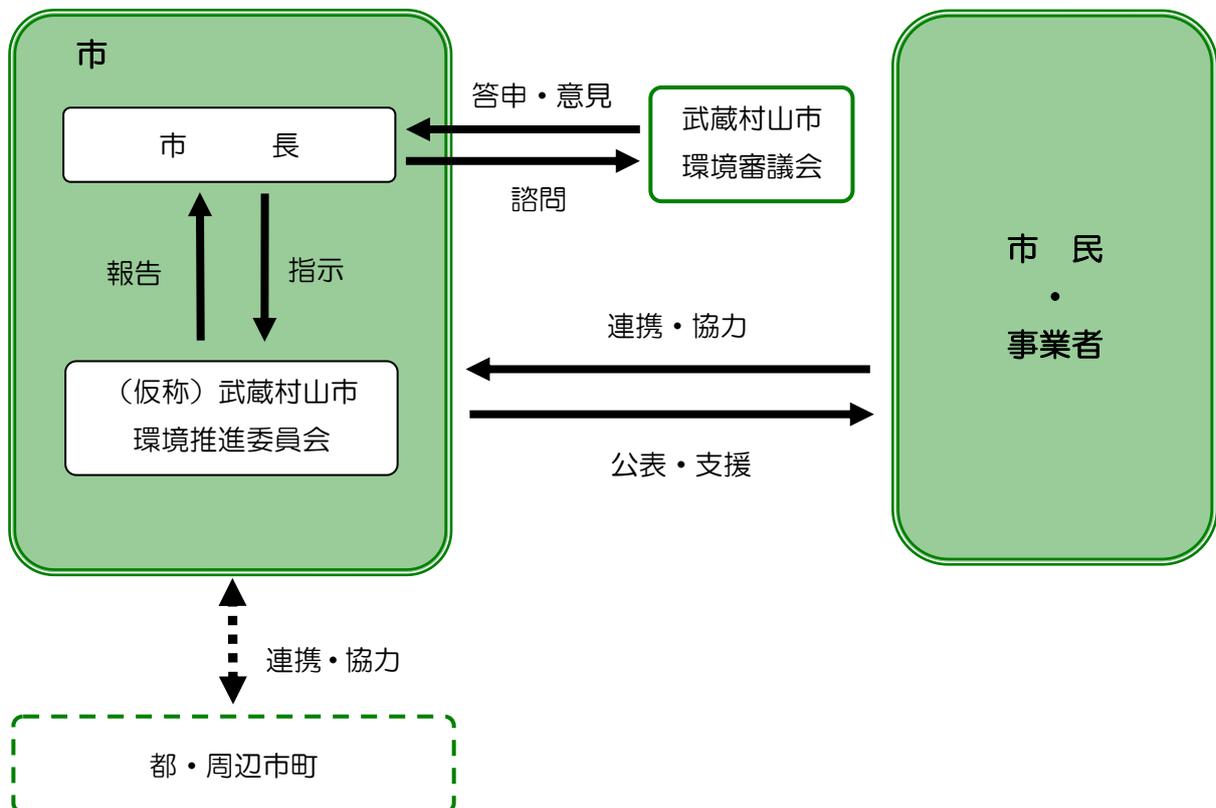
「武蔵村山市環境審議会」は、学識経験者、関係行政機関職員、市民、事業者の代表によって構成される組織です。

環境の保全等の施策に関する基本的事項、環境に著しい影響を及ぼすおそれのある事項などについて、多面的・専門的に調査審議し、見直し方針などを検討します。

(仮称) 武蔵村山市環境推進委員会

「(仮称) 武蔵村山市環境推進委員会」は、本計画の推進及び進行管理の庁内組織として位置づけます。環境施策の進捗状況などについては、庁内の「各担当課」からの報告を受け、総合的・横断的な調整を行います。

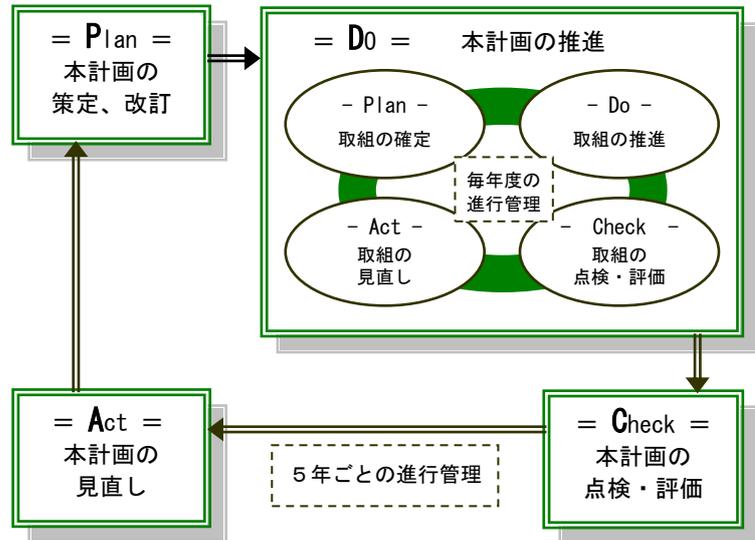
■ 計画の推進体制



2 進行管理の仕組み

本計画で定めたさまざまな取組を着実に実践し、また、本計画の継続的な改善を図っていくために、進行管理の仕組みを導入していきます。

進行管理の仕組みは、P（Plan：計画立案）→ D（Do：実践）→ C（Check：点検・評価）→ A（Act：見直し）といった「PDCAサイクル」を基本とします。



「(仮称) 武蔵村山市年次報告書」を通じた見直し（毎年度実施）

環境指標の達成状況及び環境施策の取組状況などについて取りまとめた「(仮称) 武蔵村山市年次報告書」を毎年度作成し、市民・事業者に公表することにより、進捗状況の点検・評価と見直しを行います。

Plan	予算を確定し、環境施策を確定します。
Do	「(仮称) 武蔵村山市年次報告書」を通じて、環境施策を推進します。
Check	環境指標及び環境施策の点検・評価を行います。
Act	翌年度の環境施策や予算への反映方針を検討します。

計画全体の見直し（5年ごとに実施）

本計画は、平成 27 年度までを計画期間としますが、今後の社会経済状況の変化や環境に関する知見の向上、市民の環境に対する価値観の変化等に適切に対応するため、5年ごとに、計画の体系や進行管理のあり方など、計画全体にかかわる見直しを行います。

Plan	本計画策定時は、望ましい環境像、環境目標、環境施策などを示します。改定の際は、その見直しを行います。
Do	環境基本計画に基づき、環境施策を推進します。
Check	「(仮称) 武蔵村山市年次報告書」をもとに、計画の点検・評価を行います。
Act	本計画の点検結果は、計画の見直しに反映させます。

3 点検評価の手法

環境目標の達成に向けて、現況調査、担当課へのヒアリングの実施により環境指標を定期的に点検し、環境指標や施策の取組の見直しに反映させます。

環境目標	環境指標	担当課
1 狭山丘陵と森をはぐくむ	狭山丘陵周辺公園等面積 (m ²)	道路公園課
	都・市・市民・事業者が連携し、狭山丘陵を保全・活用する。	まちづくり課
2 親しみのある水辺をつくる	水辺とふれあえる箇所数	道路公園課
	湧水の保全件数	環境課
3 動植物と人との共生	動植物の生育・生息状況を把握し、市民・事業者の環境保全意識を高める。	環境課
4 まちのみどり・身近なみどりをつくる	一人当たりの都市計画公園等面積 (m ²) 生け垣奨励助成制度による補助件数 (件)	道路公園課
5 農地を守り、育てる	体験型市民農園の設置箇所数 (箇所) 農産物直売所の箇所数 (箇所)	産業振興課
6 快適でやすらぎのあるまちをつくる	クリーン作戦の参加人数、ごみの回収量 (人、kg)	環境課
7 地域の歴史や文化をまもる	歴史的文化的遺産とふれあう機会や場を増やす。	生涯学習課
8 安心して住みよいまちをつくる	道路沿道における二酸化窒素濃度 (ppm) 残堀川における BOD 濃度 (mg/ℓ) 空堀川における BOD 濃度 (mg/ℓ) 地下水の環境基準の達成状況 道路交通騒音測定値 (dB) 道路交通振動測定値 (dB) 横田基地航空機騒音測定値 (WECPNL) ダイオキシン類の大気環境濃度 (pg-TEQ/m ³) ダイオキシン類の水質環境濃度 (pg-TEQ/ℓ)	環境課
	公用車における低公害車の導入台数 (台)	総務課
9 資源やエネルギーを大切にする	一世帯当たりの使用量 ・電気 (kWh/年) ・都市ガス (m ³ /年) ・水道 (m ³ /年)	環境課
10 ごみを減らしリサイクルを進める	排出物原単位 (g/人・日) 収集ごみ量原単位 (g/人・日) 持込ごみ量 (t/年) リサイクル率 (%) 最終処分量 (t/年)	環境課
11 地球をいたわる	一世帯当たりの二酸化炭素排出量 (t-CO ₂ /年) ・電気 ・都市ガス ・水道 酸性雨やオゾン層保護に関する情報提供を増やす。	環境課
12 環境に関心を持ち、学ぶ	広報による環境情報の提供回数 (回/年) ホームページへのアクセス件数 (件/年)	秘書広報課
	環境学習会、親と子の環境教室の開催回数、参加人数 (回、人) こどもエコクラブの登録件数、参加人数 (件、人)	環境課
13 環境活動を活性化する	環境団体の数 (件)	環境課